

平成22年度一般会計当初予算説明資料

6款 農林水産業費

1項 農業費

6目 農作物対策費 <地方機関計上予算>

東部総合事務所農林局 (0857-20-3553)

(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) 猪鹿肉流通モデル事業	951	0	951				951	
トータルコスト	1,758千円 (前年度 0円) [正職員:0.1人]							
主な業務内容	調査支援、販売確保推進支援、補助金交付事務							
工程表の政策目標 (指標)	—							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

有害鳥獣の捕獲頭数の増加を図り農林被害を減らすため、捕獲鳥獣肉の有効利用促進に向け総合的に支援する。

2 主な事業内容

(1) イノシシ等有害鳥獣処理加工推進事業 (国事業) 【予算は生産振興課所管】

①食肉処理施設整備モデル事業 (H22年度)

捕獲されたイノシシ、シカを解体から部分肉処理まで行う食肉処理施設のモデル整備。東部管内1箇所(河原)に設置

②食肉処理施設整備事業 (H23年度～)

解体から部分肉処理まで行う食肉処理施設を東部管内数箇所に設置

③食肉加工施設整備 (H23年度～)

各処理施設で部分肉処理した肉を精肉、加工、販売まで行う食肉加工施設の整備

(2) イノシシ肉等需要促進事業

県内、県外の消費者におけるイノシシ等肉の需要促進に向けた新たな流通システムを確立するために、鳥取市に対してモデル事業として支援

事業内容	事業主体	事業費	予算額	補助率
①マーケットリサーチ事業 イノシシ肉等の県内での消費拡大を図るうえで、消費見込みについてマーケットリサーチを行う	鳥取市	1,901	951	県 1/2
②販路確保推進事業 イノシシ肉等の安定的な供給を確保するため、関西圏の飲食業者等へ取扱PRを行う 【支援対象】 ・消費者向け商品開発委託費 ・試食会経費 ・レシピ集作成費 ・関西圏での意見交換会費 ・関西圏飲食業者等へのPR費 等				

3 これまでの取組状況、改善点

既存の被害防止対策と併せて、捕獲鳥獣肉の消費拡大対策に初めて取り組む。

(1) 有害鳥獣の農林被害防止対策

・鳥取県鳥獣被害総合対策事業 (単県、国事業) への取組み。

・鳥取地区鳥獣被害対策協議会において、東部管内の鳥獣関係機関で協議会及び研修会を開催

・有害鳥獣肉を食肉として利用したいという要望があるが、適した施設が少なく利用者も限られている。

(2) 有害鳥獣肉のPR

・鳥取市のイベント等でイノシシ肉等を調理 (鍋、汁等) して提供、販売しているが、鳥獣肉は入手しにくく、取り扱う料理店等も少ないため一般的に普及していない。